



イタチ

2018. 2. 1

「立春」「東風解凍」春が待ち遠しい時季ですが、田んぼの氷はまだまだとけそうにはありません。とはいえ空が明るくなり、鳥たちのさえずりがにぎやかに……。道端の雑草の中に小さな花を見つけ、思わず微笑む。堂谷津の里はアカガエルの産卵を待つばかりです。



堂谷津の里散策

冬の楽しみ編



アカガエルの卵塊探し！

虫の冬越し観察！



バードウォッチング！

小さな春探し！



<季節メモ>

雑木林で虫さがし

葉を落とした雑木林は虫たちの格好の冬のすみか。コナラの幹の窪みに「クヌギカメムシ」の灰緑色の卵塊がいくつも並んでいる。イヌシデの幹には「マイマイガ」の卵、朽ち木の中をそっと覗くとびっくり！「ヤケヤスデ」がきれいに並んでいる。大きくなった「カブトムシ」の幼虫は積み上げた落ち葉の中で冬眠中。見上げるとまばゆい青空に「ウスタビガ」の卵をつけた空繭が……。虫たちもしっかり命をつないでいるんですね。

写真・編集：晝間